

事業主体名	今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート						
事業名	「やんばるの歴史・文化」関連施設整備事業(今帰仁城跡周辺地域)				担当部署名	社会教育課
					認定市町村名	
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	<input checked="" type="checkbox"/>	現年事業	R1～R3年度
	<input type="checkbox"/>	先導性要件		<input type="checkbox"/>	繰越事業	
事業内容	「やんばるの歴史・文化」関連施設への周遊性の向上及び観光消費の拡大を図るため、世界遺産「今帰仁城跡」における多言語解説板等の設置及び沖縄が有する世界文化遺産群の情報発信に向けた取り組みを実施する。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
	当初予算額	2,387	0	8,100	9,000	
	増減額	0	0	0	0	
	予算現額	2,387	0	8,100	9,000	
	前年度から繰越	0	2,387	0	0	
	翌年度へ繰越	2,387	0	0	0	
	計	0	2,387	8,100	9,000	0
	執行済額	0	2,387	7,983	9,000	
	うち補助金充当額	0	1,910	6,386	7,200	
	不用額			0	0	
執行率(%) (B/A)		-	100.0%	98.6%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の計画どおり映像コンテンツの制作が完了し、事業は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況			
			R1年度	R2年度	R3年度	
	多言語解説板等の設置	目標	(1件)	(1件)	(-)	(-)
		実績	1件	1件	-	-
	駐車場区画線の整備	目標	(-)	(2箇所)	(-)	(-)
		実績	-	2箇所	-	-
5Gを活用した映像コンテンツの制作	目標	(-)	(-)	(1件)	(-)	
	実績	-	-	1件	-	
達成状況説明	○当初の計画どおり今帰仁城跡への誘客促進を目的とした映像コンテンツの制作を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(H30年度)	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	今帰仁城跡来場者数	目標		(-)	(-)	(302,000)
		実績	252,155	77,577	68,572	182,592
	成果目標(指標)		基準値(H30年度)	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	今帰仁城跡の消費額	目標		(-)	(-)	(110,000,000)
		実績	91,000,000	28,221,968	24,365,857	95,878,915
進捗状況説明	○今帰仁城跡への来場者数は未だコロナ前の水準まで回復していない状況にある。 ○同施設の消費額についても、来場者数と同じく目標達成に至っていない。					

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○新型コロナウイルスの影響により、施設の来場者数は大幅に落ち込んでいる状況にある。(達成率60%)</p> <p>○施設の消費額についても、達成率87%と目標達成には至っていないが、コロナ前と比べて増加している。</p>	<p>○今後の観光需要の回復を見据えて、更なる受入体制の強化や県内外へより効果的なプロモーション展開が求められる。</p> <p>○成果目標である施設の消費額増に向けては、滞在時間の延長や施設の魅力向上など来場者のニーズに応じた取組を展開していく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○スタッフの対応や案内板の充実などサービス面での満足度向上を図る。</p> <p>○来場者に対して、アンケート調査を実施することにより、来場者のニーズ把握に努める。</p> <p>○県内外の観光事業者と連携し、更なる施設のPRIに努める。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
9,000	9,000	7,200	1,800	0
<pre> graph LR A[今帰仁村 19,370千円] --> B["【R3年度】 委託料 9,000千円"] B --> C["(株)NTTドコモ 9,000千円"] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>				

資金の流 点検 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	選定した委託業者については、特殊業務であったことから、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については、見積書を徴し積算していることから、適切であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。